

【件名】

科学児童館について

【内容】

私の育った地域には自宅から自転車圏内に2つの児童館があり、小学生の頃は時期によっては毎日のように友達と児童館に遊びに行きました。

そこでは人体のことや自然界のことを遊びながら学ぶことができました。大学卒業後に看護師になりましたが、児童館で腸の長さを知るための綱を引っ張ってみたり、魚の目では世界がどのように見えているのかを体験していたことは糧のひとつになっていたと思います。また使用済みの油で石鹼を作るワークショップに参加したことも覚えています。

自分が母となり、子どもを遊びに連れて行く時、科学児童館が近所にあるのは当たり前のことだと思っていました。娘が生まれたときには横浜市に住んでいましたが、横浜ほど大きな市でも科学館があまりないことにがっかりしました。はまぎんこども宇宙科学館が私がイメージしていた科学児童館に近かったのですが、民間が運営しているのでしょうか。

科学児童館があったらいいのになあと思いながらも、そのような考えを伝える場はないだろうなと思っていたところ、鎌倉市のわたしの提案の箱を見かけたので、発信をさせていただきました。神奈川県では子どもが科学を学ぶ施設を公的に運営することはあまりないのでしょうか。あーすぷらざは、文化的なことを学ぶのにとっても有益だと思います。同じように、子供が生物や自然を学ぶ施設が出来るとありがたいです。ご検討よろしくお願いいたします。

【回答】

児童館とは、児童福祉法において「地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする施設」と定義されています。

本市には、科学児童館も含め、児童館はなく、また、自然科学に関する展示を行う児童向けの施設を新たに設ける計画はありませんが、児童館の役割を担う施設として、市立小学校区毎において、小学校の放課後等に児童が利用できる「放課後かまくらっ子」を実施しています。

「放課後かまくらっ子」とは、すべての児童が放課後の時間を安全・安心に過ごすことができ、アフタースクールと学童保育を一体的に実施するもので、地域の方の参画のもと、多様なプログラムを実施することで、子どもたちに様々な体験を提供しています。

プログラムは、バスケットやダンス、タグラグビーなど運動を行うもののほか、けん玉などのむかし遊び、英語や音楽、科学などのプログラム、クラフト工作プログラムなど多岐にわたり実施しております。

また、児童、生徒が利用できる施設として、青少年会館を設置しています。青少年会館では、団体や個人で研修室等を利用できるほかに、小学生や親子で参加できるキャンドル作成、サイエンス教室、料理の体験といった講座事業を行っています。

参考に、御提案者様が挙げられていたはまぎんこども宇宙科学館（正式名称は、横浜こども科学館）は、横浜市が設置し、指定管理者が運営する施設となっています。また、近隣では、藤沢市が設置し、指定管理者が運営する湘南台文化センターのこども館が、自然科学について学ぶ展示であったり、ワークショップの実施があるようです。

本市には、これらの施設はありませんが、鎌倉ならではの子どもの教養や体験に資する施設がありますので、ご紹介いたします。鎌倉国宝館や鎌倉歴史文化交流館では、文化財や、鎌倉の歴史・文化に触れる機会を提供しています。鎌倉が守ってきたみどり豊かな鎌倉中央公園や鎌倉広町緑地では、自然観察や谷戸にすむ生物の観察などの体験ができますので、ぜひ、お出かけください。

令和6年（2024年）11月7日対応／回答